別紙様式

意見交換会実施報告書

平成 30 年 12 月 19 日

登米市議会議長　及川　昌憲　　様

第４班　代表者　沼倉　利光

１．意見交換会の概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成 30 年 10 月 18 日　　午後７時 00 分　～　８時 40 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>津山町公民館（和室）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者：沼倉利光
司会者：岩淵正宏
報告者：関　孝
記録者：佐々木好博
受　付：工藤淳子</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>19　　人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>議会報告</td><td>・議会活動報告について
・財政状況について
　30 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて
・常任委員会からの報告</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>・『登米市の地域医療を考える』
　地域医療の現状と方向性を説明</td></tr>
</table>

２．市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質　問	（病院） １．ドクターバンクとは何か。 ⇒ 地方の診療所勤務を主な目的として医師に登録していただいて、県職員として３年１期で地域診療に携わってもらう事業。 ２．市内開業医に対して市の助成等はあるのか。 ⇒ 現在、開業医に対しての市からの助成等の支援は特に行っていない。 ３．開業医も地域の大切な地域医療を守る医師たちと認識している。積極的な支援も必要ではないか。 ⇒ 現在地域包括ケアシステムの取組において、開業医との連携構築へ向け努力しているところだ。 ４．津山診療所が休診中だが、希望する開業医などに開放して積極的医師招聘と施設利用を図るべきではないか。 ⇒ 米川の例もあるが、様々な検討の中で可能性を探っていくべきと考える。医師不足は登米市だけではなく、全国的な地域の問題にもなっている。津山診療所を使いたいという医師がいればだが、現状ではそういう申し出はない状況だ。 　しかし、登米市として積極的に施設の無償貸与や格安料金で利用できるようにアピールして医師に来てもらう方向性は考えられる。参考にさせていただく。 ５．現状で登米市の地域医療は、病院を含め大変な状況にある。どうしてこうなったのか。 　これまで市民に対して情報がほとんど出てこなかった。もっと情報を共有すべきではなかったか。 ⇒ 現在、市民病院の臨床研修病院指定へ向けて取り組んでいるところだが、臨床研修医制度がスタートした平成 16 年以降、議会としても医療局との議論の中で提案をしてきた。 　当時それまで日常の業務が忙しすぎて、研修医を指導する余裕もなかったなど、その方向性を一致させるに至らなかった。当時の方向性が全く間違っていたのかということではなく、事実平成 18 年以降 10 億以上の赤字が続いたが、平成 24 年には一時黒字化に転じている。 　ただし、それ以降全体的な人口減少や設備更新の遅れなどにより、患者数が確保できず再び赤字へと転落してしまった。 　現在は新しい医師確保のためにも、早急に地域包括ケアシステムの構築と市民病院の臨床研修病院指定へ向けて議会も取り組んでいるところだ。情報共有については議会も反省している。 　今後は、積極的に情報提供していくように考える。 ６．市民病院が臨床研修病院の指定を受けられるのか。また、指定を得たとして、本当に研修医が来るのか。医療設備も古い、新医療制度に対応していないなど問題があるが大丈夫か。議会はどの様に対応していくのか。

会場で回答したもの	質　問	⇒ 病院事業管理者をはじめ、医療局が考える方向性は市民病院の臨床研修医指定だ。議会も一定の理解のもと、その方向性に向かい、指定に向けた取り組みを進めているところだ。 　また、機器などの設備の整備については財政的な問題もあるが、やらなければならない部分には、議会も執行部とともに前向きに全体的なバランスを見ながら進めていかなくてはならないと考えている。 ７．医者の金銭的な待遇をもっとよくすれば、医者は来るのではないか。 ⇒ 登米市の医者が、他地域より待遇面で見劣りしているという状況ではないという認識だ。 （結婚） ８．少子化対策としてのカップリングの取組が大切と思う。前回も質問したが、どうなっているのか ⇒ 市独自の取組も行っているが、現在、一関市や栗原市などと連携して婚活のイベントなども行い、実際カップルも誕生している。
	意　見	（もくもくランド） １．他の道の駅と違い、もくもくランドは立地条件から地元の利用者が少ない。また、産直も高齢化などにより様々な問題を解決していくのは自分たちだけでは難しい。 ⇒ 議会としても、道の駅に人を寄せるような、ほかのイベントと組み合わせるなど取り組みなども考え提案していく。
	要　望	（もくもくランド） １．木工の職人が高齢化、担い手もいない、機械も古くなってきている。今後の展開を含め、大学との連携事業などを望む。 ⇒ 今回の意見交換会を契機として実情を把握し、常任委員会としても一緒に検討していきたい。 （市民プール） １．佐沼の市民プールの休みが多いので、もっと利用できるようにしてほしい。 ⇒ 現在、改修工事の関係で曜日制限をして解放している。今後整備が終われば、もっと利用できるようになる。
会場で回答していないもの	質　問	（その他） １．種子法が変わったと聞いているが、どんな影響があるのか。 ⇒ 調査して回答する。
	要　望	（太陽光発電の売電） １．林業センターの太陽光発電について、現在は充電率が高く、売電できる状況にあるが、売電の取組を検討してほしい。それが指定管理者に還元されるようになると良いと考えるがどうか。 ⇒調査して回答する。
	提言	（臨時職員の無期雇用） １．指定管理の中で５年以上の臨時職員は無期雇用として採用されるが、安心して働ける環境として退職金制度などの整備が必要と考えるが。 ⇒担当に伝えておく。

その他 特記事項	前向きな話し合いができ、参加者との情報共有もできたと思うが、病院問題については今後も積極的な情報発信が必要だと感じた。